

# 校長室通信 12月

令和5年12月1日  
羽咋市立羽咋中学校  
校長 宮下 裕樹  
第8号

## 校則について考える

現在、後期生徒会役員が中心となって、自分たちの学校の校則の目的を検討するという動きをスタートさせました。先日も生徒の意識を調査するアンケートをとったり、その結果をまとめて生徒に発信し、全校生徒で共有したりしています。校則を変えることが最終ゴールではなく、校則の在り方を自分たちなりに考えるための場と捉え、生徒たちは考え始めました。また、PTAの生活指導委員会の方々からもいくつかのご意見をいただきました。今後も生徒、保護者、学校の三者で協力しながら歩みを進めていきたいと思います。

世の中で生徒たちの特定の行為の禁止や義務付けの規定（内容）が厳しすぎるという、いわゆる「ブラック校則」なる言葉が頻繁に取り上げられ、校則の見直しが、次第にクローズアップされるようになりました。また、このタイミングで、生徒指導の基本的な考え方や取組の方向性等を再整理し、今日的な課題に対応していくため、12年ぶりの改訂が行われた「生徒指導提要」が昨年公表されました。これは小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができるよう、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として作成されたものです。

先日、全校に向けて校則について考えることを提言した生徒会役員の生徒たちは、校則の目的を考えることの難しさを口にしていました。確かに難問です。今は、多様性の時代。様々な考え方や個性が認められる時代と言えます。しかし、「安心安全な学校にすること・生徒がよりよく成長していくこと」のために一定の決まりは必要ではないでしょうか。東京ディズニーリゾートでは、「ゲスト（お客様）に好感をもっていただける身だしなみを保つことを目的としたディズニールック」という基準を設けています。ヘアスタイルやヘアカラー、メイクなどの基準があり、働く施設や職種の区別なく、すべてのキャストが守るものです。」というお話を聞きました。大人に対する基準が存在することに驚くと共に、「お客様のため」というディズニーリゾートならではの決まりに納得もしました。曖昧な言葉ではありますが、「中学生らしい」という言葉に帰着するのではないかとも思います。羽中生としての品格が一層求められていて、生徒自身の自覚や保護者による家庭での指導の重要度はさらに増すものだと思います。

例えば、大人（社会人）が、金髪やモヒカン刈りなどの異様な髪型をして、取引先の方と商談をする場面は、とても想像できません。相手の信用を得る容姿とは言えず、社会通念に照らしても、著しく合理性を欠いているということなのだと思います。中学校においても、同様であると考えます。事細かな線引きを示すことは、ある意味簡単ですが、それよりは羽咋中生にふさわしい身なりや言動を自覚してくれることを期待したいと思います。校則がなくなることはないと思います。しかし、明文化しなくとも、生徒たちの心の中にある「羽中ルック」を拠り所にして、判断してもらうのはどうでしょうか。

## 栄光の足跡

### ○家族川柳作品コンクール

優秀賞	阿曾 鳩斗	本多 功樹	山田 隼	木村 濂	金山 美里
	丸田ちひろ	安田 咲來	岩本 真悠	松田 充希	後石原悠真
	中居 幸葉	塩谷 美喜	中野 煙仁		

### ○いしかわ百万石文化祭短歌大会

入選 岩本真和花

### ○羽咋都市児童・生徒科学作品審査会

特選（県出品）安中 詩恵

特選 石塚 虹帆

入選 松田 侑大

○羽咋市ファミリーふれあい短歌作品コンクール  
優秀賞 岩谷 威里 橋本 吏央 堀井 亜瑚

○秋季火災予防運動防火（防災）ポスター

金賞	坂本 和花	本多 功樹	菊井 真帆	金松	希美	梅田 恵咲
銀賞	谷口 結音	坂本 優寿	作本 芽依	柴田	圭吾	
銅賞	嶋田 裕太	川崎陽花里	太郎田美涼	徳山	瑠華	
	中居里緒奈					



○全能登中学校新人バレー ボール大会

○能登地区中学校選抜バレー ボール大会

2位	盛田 なぎ	岩谷 威里	井上 心都	板坂	琉依	梅田 恵咲
	田夢 愛琉	勝山 美来	永野 里和	木村	渚	池田 真桜
	西野 朋恵	山口 美桜				

○全能登中学校新人剣道大会

男子団体1位	至極 彩生	針原 慶伍	松田 充希	竹津 義敬	本吉 兼史
	中山 雄貴	宮森 謙			
男子個人3位	至極 彩生				
女子団体2位	永原 こはね	前波 香凜	高畠 朱里	中村 瑠花	磯見さくら
	菊井 真帆	中山 結乃			

○石川県読書感想文コンクール

自由読書の部 優良賞 村田 幸

○石川県「家庭の日」川柳コンクール

佳作 中村 陸人 藤田 美咲

○市弓道選手権大会 男子中学生の部

男子中学生の部	1位 東井 幹太	3位 末廣 咲空
女子中学生の部	3位 中條 那砂	

○「わたしの町のたからもの」絵画展

優秀賞 小曾宇谷はる  
入選 仙崎 志歩 塩谷 美喜 永野 里和 備後まおみ



## 学校内外の行事から

### ★English Career (11/6)

NPO法人You-Iの協力を得て、今年は10人の外国人講師の先生をお招きして実施しました。2年生の各学級2時間の設定で、英語でやり取りをすること、それぞれの職業について理解を深めることができます。飛行機の機内・入国審査・観光・買い物・レストランの場面に応じた自然な会話、必要なフレーズを確認しながら、生徒たちは楽しく参加していました。



### ★市小中合同音楽会 (11/17)

合唱コンクールの2年生の課題曲であった「時の旅人」を、舛谷ゆづさんの指揮、中村瑠花さんの伴奏による全員合唱をコスモアイル羽咋大ホールで披露しました。心を一つにした歌声は、会場の小学生や保護者の方々を魅了したものと思います。後半には、羽咋中・邑知中吹奏楽部による演奏がありました。両校とも部員の数は十分とは言えず、また、合同練習も少ない中、力を合わせて素敵な音楽を届けてくれました。



## 充実した冬休みに向けて

2学期の終業式近くになると、各学年で学年集会を行い、「冬休みの生徒心得」の内容を確認します。病気や事故、けがのない充実した冬休みにしてほしいと願っています。保護者の皆様には、通知表と共に届けしますので、目を通していただき、家族でお話をいただけたと幸いです。

冬季休業中の12月29日(金)～1月3日(火)の期間において、学校への緊急な連絡が必要な場合は、22-1135までお電話をしていただければ、担当者に転送されます。

## 編集後記

○○ファストと言えば、トランプ元大統領のアメリカファスト、小池都知事の都民ファストが思い出されます▼先日、元バレー日本代表の山口千鶴さんの講演を聴く機会がありました。その中で、選手が1番、それを周囲が支える指導(プレイヤーズファスト)から、これからは、選手を中心に、周囲が気付きを促し、成長に導いていく指導「プレイヤーズセンタード」に変わっていくとのお話がありました▼学校(私)は、生徒ファストであるべきとの思いがありましたが、学校においても、生徒をセンターに置き、関わるすべての関係者(保護者、地域、教師等)自身も、それぞれの Well-being(幸福な状態)を目指すことの大切さに気付かされたような気がします▼後半戦にさしかかった今、改めて「ステューデンツセンタード」の視点をもち、教職員一丸となって指導に当たっていきたいと思います。(宮下)